

友和



NO.550

発行日 令和5年2月1日

発行 社会福祉法人 友和の里

〒738-0203

広島県廿日市市友田 218-38

TEL0829-74-2157 FAX0829-74-2154

HP : <http://yuuwanosato.com/>

発行者 施設長 川本 靖



1月12日どんど 着火するところ

とんど

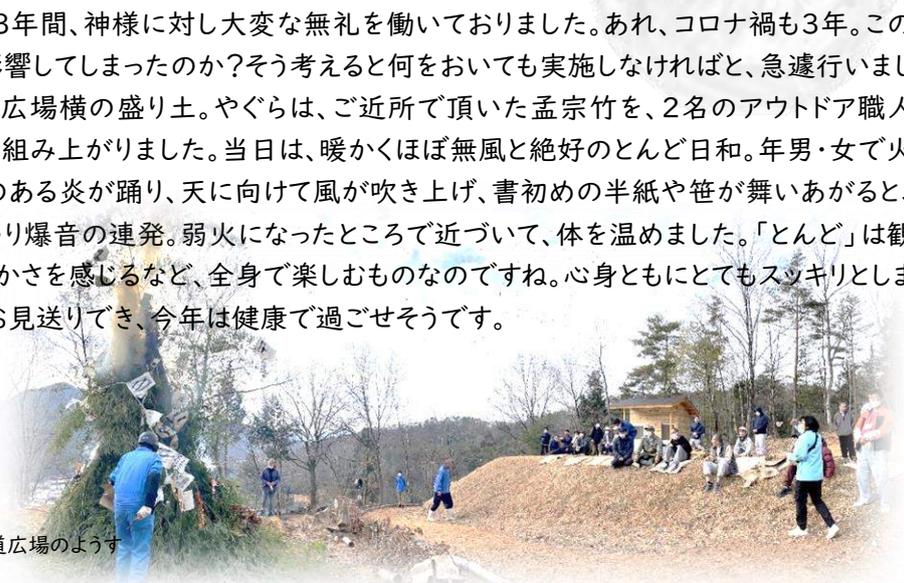
3年振りに「とんど」を行いました。「とんど」は、お正月に神様をお迎えする正月飾りのしめ縄や門松などをお炊きあげして、感謝とともにお見送りする意味があるとのこと。

ということは、この3年間、神様に対し大変な無礼を働いておりました。あれ、コロナ禍も3年。この「とんど」中断が影響してしまったのか？そう考えると何をにおいても実施しなければと、急遽行いました。場所は遊歩道広場横の盛り土。やぐらは、ご近所で頂いた孟宗竹を、2名のアウトドア職人(員)により見事に組み上がりました。当日は、暖かくほぼ無風と絶好のとんど日和。年男・女で火入れすると、迫力のある炎が踊り、天に向けて風が吹き上げ、書初めの半紙や笹が舞いあがると、中心の竹に燃え移り爆音の連発。弱火になったところで近づいて、体を温めました。「とんど」は観て、聞いて、寒さ温かさを感じるなど、全身で楽しむものなのですね。心身ともにとってもスッキリとしました。無事神様をお見送りでき、今年は健康で過ごせそうです。

追：来年はお餅を焼いてたべたい。

写真右上：トップカーで竹を運んでいるところ

写真右下：当日の遊歩道広場のようす



通所部より



開所日ワクワク通信

1月の開所日は、午前中に蛇喰磬方面へのドライブをしました。午後からは社協でお借りしたレクグッズを使って身体を動かしました。ボーリングや輪投げ、紅白対抗玉入れ合戦…。しっかり身体を動かした後は、それぞれ好きなジュースとお菓子を食べました。



河崎 友美

新しい職員紹介

河崎 友美(かわさきともみ)です。皆様と学び、成長できるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

微笑みの天使のようなほんわかした雰囲気をもつ河崎さん、小鳥大好き女子なんだそうです。



陶芸班

寒い日が続きますね。

陶芸班は干支も落ち着き、ゴム入れ作業や自立課題をしています。みなさんとても集中力が高く、それぞれのペースでしっかりと取り組まれています。

生活支援員 冠 茜

※ゴム入れ作業は貝通しにつながる作業です。決まった数のゴムを自助具を使って数えて袋詰めしていきます。



創作班

今月は、お正月休み、新年会、とんどなど、イベントが盛りだくさん。納品の期日も早まり、作業時間が取れず少し焦りましたが、なんとかウエス51袋出来上がりました。休み明けでも作業ペースは変わらず、毎日頑張っていたいただいた成果です!

生活支援員 富永 緑



療育班

年の初めということで、みなさんで書き初めをしました。筆に墨汁をたっぷりつけて堂々とした字を書きました。

生活支援員 濱田 吉弘

※書初めは新年会で披露され、その後とんどの飾りつけに使用しました。半紙には「正月」の文字や自分の名前、力強い筆線などなど書いてありました。



貝通し班

今月は作業風景です。みなさん黙々と作業されています。朝送迎時に添乗の職員に、今日は作業「ある?」「ある?」とジェスチャーを交えながら話してくれます。「あるよ!」と答えるとうなずいてくれます。寒さに負けず元気に作業し、新しい事にトライしながら過ごされています。

生活支援員 三宅 将

グループホーム ・フレンドホームより



グループホームのある岩組には若者会という会があり、毎年元旦に獅子舞が地区内を回る伝統行事があります。

グループホーム・フレンドホームゆうわの恒例行事となった(?)お正月の友和地区岩組さんの獅子舞参りを受けて、2023年が幕開けとなりました。お正月はグループホームと合同で近くの神社に初詣に参り、お節料理やお雑煮を頂き、ちょっと着物を着てみたりして、ゆっくり過ごしました。佐藤さんのクロスステッチの作品を額装しました。とても見栄えのする素敵な作品となりました。自室の一番目立つところに飾ってあります。いつもながら、下絵も何もなく、佐藤さんの頭の中にあるとても豊かな世界が作品に表現されています。主任生活支援員 川久保 貴子



1月12日にグループホームゆうわの荻野貴之さんが50歳の誕生日を迎えられましたので、ささやかながら誕生日会をさせて頂きました。荻野さん以外のグループホーム入居者の方々には苺のプリンを、主役の荻野さんには予め選んで頂いていたパリパリ食感の板チョコが入ったチョコレートケーキを夕食後に召し上がって頂きました。当日の朝からとても楽しみにされていたケーキだったこともあり、ニコニコしながら美味しそうに召し上がっていらっしゃいました。2月には岡田晃尚さんの誕生日がありますので、またお好きなケーキを選んで頂き、お祝いさせて頂きます。生活支援員 堂面 大地



にゆうしよ



レクリエーション

1月のレクリエーションは、入所部新年を祝う会を行いました。理事長に新年のあいさつと、年男3名の紹介をして頂き、午前は福笑い大会、午後は、ホールに出現した鳥居の前でおみくじを引き、記念撮影しました。福笑いは、たくさんの利用者さんが立候補して下さり、十人十色の福笑いと呼ぶ素敵な顔が出来ていました。福笑い大会なので、誰の福笑いが多くの笑いを呼べたかを競うつもりでしたが、どれも素敵で選べませんでした。福笑いでたくさん笑ったので、今年の入所部は福がたくさん、笑いの絶えない1年になるでしょう。生活支援員 乙原 恭子

うさぎ年生まれの年男さん3人

はつもうで

1月は速田神社へご利用の方と初詣に行ってきました。お願い事は、今年一年友和の里に関わる全ての方々が無病息災でまた新型コロナウイルスが落ち着いて幸せな一年を過ごせますようお願いをしてきました。皆さんはどんなお願い事をされましたか？これからもご利用の方々と共に学び、ともに成長し、ともに幸せになる事を目指して頑張りますのでよろしく願います。

生活支援員 高橋 正雄

※速田神社|廿日市市友田にある神社



ちょっと

ちいきと

株式会社 WOODPRO 社長中本敬章さん（64 歳）に友和の里でお話をききました。WOODPRO と友和の里のつながりは昨年春に友和の里の整備のために足場板をいただきに訪問した時から。その後、里内に足場板を使用したコーヒー堆肥をつくるコンポストボックスや足場板をはった作業小屋、屋外作品展示壁などが完成しました。会社は同じ友和地区峠工業団地に本社があり、足場板や木材を扱ったエクステリアやインテリア資材の販売を中心に事業展開されています。またアップサイクル事業も時代に先駆けて取り組まれています。中本さん自身仕事でもプライベートでもいろんな場所へ出向き仲間と集い情報収集しながら全国各地で足場板の魅力の伝道やその使用方法（レシピ）の発見開発に力を注がれています。中本さんはインタビュー前日も御調町の柿農家さんの手伝いに行かれていたそうです。また 2/12 には足場の収穫祭を津田で実施する予定、足場畑にはみんなが喜んで集まってくることなど現在進行形のお話など話題満載！中本さんの見識の広さとどんな所でもトラックに材料載せて出かけて行くフットワークの軽さなど、お伝えしたいことがたくさんありましたが、この度は特に 2 点の質問に答えていただきました。※アップサイクル：今あるものを利用して別の用途のものに作り替え、付加価値を与えること



▷福祉施設などに「廃材の森」から資材を提供していただいているがそのきっかけは？

※廃材の森 | WOODPRO が管理している「廃材をおもしろく利用する会」という取り組みでうまれたコミュニティー

原点となる出来事がありました。1998 年に宮崎県にあった工場が台風 9 号で被災し、工場が 1.8m 浸水、全て海に流されてしまいました。その際にいろんな人へ手伝ってもらって何とか復活できた経験があります。恩返しではないがそういうものはまわりまわるものと考えています。社員も巻き込んで支援はしていて、よくしてもらったから、次何か困っている人がいたらお返ししないといけないよねそんな感じ。お金はなくても材料はある。だからきっかけがあれば恩返しをするというスタンスでいます。資材をもっているといろんなご縁があります。探していくわけでないけどやってきます。



たとえば、3.11 の後 2015 年に福島で子供があそべる屋内施設を作るときに資材を提供しました。2015 年に岡山西栗倉村にあるヒノキの家具と木造建築「ようび」さんが火災で全焼した時も資材として足場板を無償で提供しています。みなさん被災したら手はあるけれどコストがない。お金が厳しい。足場板という材料とその使い方のレシピの提供するようにしています。ap bank fes' 18 (Mr.Children が開催していた野外コンサート) のサブステージを 2018 年に「ようび」さんが設計した時にも足場板を持って行って施工をさせていただきました。そもそも杉の足場板は建設現場以外での利用方法はなかった。価値転換してそういう使い方できるよねと知ってもらう。そうすると環境にもよくてお財布にもいいよね、かっこいいじゃん、おまけにかわいいじゃんと若い人たちが言ってくれるようになりました。

※足場板：足場板とは足元に敷く板のこと。建設現場や工事現場など主に高所作業で使用され、作業員の安全のために必要な工業品。金属製と木製とある。ウッドプロさんでは杉の足場板を全国から集めて再利用できるものは加工して販売している。踏んで踏まれて痛めつけられた足場板の魅力と可能性を追及しつづけている。昨年 11 月の友和の里「秋を楽しむ会」でも廃材アートとしてウッドプロで頂いた端材にペイントや描くワークをみなさんに楽しんでもらいました。

資材として足場板を提供した先では、有難いことに発信力が高いところが多く、足場板の魅力やその物語の強さをちゃんと伝えてもらうことができました。あちこちの現場でこれがこーなるんだと見てもらって、足場板がいいよねと言ってもらえるようになったと思います。

以上途中ですが一つの質問に対してたくさんの返答をいただきました。2番目の質問は「地域との結びつき」についてです。来月紹介させていただきます。日本の建築を支えてきた力強い物語が足場板にはもともとあって、中本さんはその足場板の素材の魅力と可能性をずっと追及し発信してこられてきました。いろんな人に知ってもらい、その使い方を伝える。友和の里も見習うところがたくさんあるように思いました。来月も引き続き中本さんをご紹介します。お楽しみにー。 地域交流支援員 ヒュウガノリコ（日向典子）

2月生まれのみなさん誕生日おめでとうございます

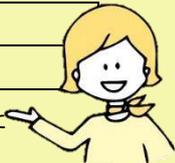
徳永絵理子さん	S49.2.2	村松 恭輔さん	H6.2.18
岡田 晃尚さん	S55.2.11	小西 邦彦さん	S55.2.23
大下 博之さん	S50.2.16	村岡 詳平さん	S55.2.27
佐藤 和子さん	S34.2.17		



<2月の主な行事予定>

2(木)	管理者会議	18(土)	通所開所日
11(土)	建国記念日	23(木)	天皇誕生日

2月3日は節分、立春とも言いますが季節の分かれ目になります。体調崩さないように過ごしたいですね。今年の恵方は**南南東**です！



お正月料理

入所部のみなさんが元旦に食べた料理をご紹介します。縁起のいい食べ物は赤色や丸いものが多いですねー。



2月の献立

1	水	ミートスパゲティ・スープ・サラダ・牛乳
2	木	ごはん・スープ・豆腐ステーキ・酢の物・ヨーグルト
3	金	行事食
4	土	
5	日	
6	月	ごはん・スープ・白身魚のカレー焼き・炒め物・果物
7	火	ごはん・味噌汁・炒り鶏・和え物・果物
8	水	焼肉丼・スープ・酢の物・牛乳
9	木	ごはん・味噌汁・鯖とごぼうの煮付け・和え物・ヨーグルト
10	金	ごはん・スープ・豚肉と白菜の中華炒め・酢の物・ゼリー
11	土	
12	日	
13	月	ごはん・スープ・ポークピカタ・サラダ・果物
14	火	ごはん・味噌汁・肉じゃが・和え物・果物
15	水	高菜丼・汁物・和え物・牛乳
16	木	ごはん・スープ・厚揚げの炒め物・酢の物・ヨーグルト
17	金	ごはん・スープ・鮭のパン粉焼き・炒め物・ゼリー
18	土	ちゃんぽん・和えもの・果物
19	日	
20	月	ごはん・味噌汁・さわらの照焼き・炒め物・果物
21	火	ごはん・味噌汁・鶏肉の竜田揚げ・煮物・果物
22	水	ホットドッグ・スープ・サラダ・牛乳
23	木	
24	金	ごはん・スープ・ハンバーグ・サラダ・ヨーグルト
25	土	
26	日	
27	月	ごはん・スープ・春巻き・酢の物・果物
28	火	ごはん・スープ・鶏肉のパン粉焼き・サラダ・ゼリー

やおをえず献立を変更することがあります。あらかじめ御了承ください

空き缶受け取りの終了について

新型コロナウイルスの感染防止対策で一時中止していた空き缶つぶし作業ですが、完全中止とすることになりました。それに伴い、空き缶の受け取りを終了いたします。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました
通所部より

あまかん

あまかん

あまかん